

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	港湾施設管理事業		会計区分	1	一般会計	所管部署	土木管理課												
			予算科目	8	款					4	項	1	目	土木費					
事業番号	3670		事業区分	施設維持管理等事業			シート入力	R	4	年度	R	5	年度	R	6	年度			
評価の種別	□ 詳細評価		簡易評価（事業の概要・結果のみ）						所属長名	武智	武智	武智							
総合計画での位置づけ	基本目標	産業振興都市の創造						担当責任者		神東	神東	神東							
基本施策	活力ある商業・工業の振興						事務担当者		神東	神東	神東								
根拠法令等	港湾法、愛媛県港湾管理条例、伊予市港湾管理条例																		
関係する計画等																			
事業の目的【ゴール】	対象	伊予港各施設使用者													事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			
目指すべき姿を簡潔に	意図	海上輸送の拠点である伊予港の整備促進及び適切な維持管理を行うことで、商工業、さらには地域経済の振興・発展に寄与する。																	
事業内容【アクティビティ】	(1) 港湾施設使用料その他所属の収入に関する事項 (2) 港湾管理者から委託された事項 (3) 港湾統計に関する事項 (4) 港湾内における水難救助に関する事項 (5) 港湾内航路標識に関する事項															事業終了年度（予定）	令和 年度(予定) □ 設定なし		
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか																			
事業の実施方法	□ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理	□ 補助金・負担金等	□ その他	()												
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう			□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに			□ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を									
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに			□ ゴール 8	働きがいも経済成長も			□ ゴール 14	海の豊かさを守ろう									
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を			□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう			□ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう									
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに			□ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう			□ ゴール 16	平和と公正をすべての人に									
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう			□ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを			□ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう									
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に			□ ゴール 12	つくる責任つかう責任													

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断	施設・設備の老朽化が進んでおり、報告のあったものから順次対応している。風が強いため、看板等の破損も見られ、使えるものを再利用し、修繕を行った。	市営野積場について、公募要項を作成し、ＨＰに掲載することで利用者増加を目指す。	令和５年度に公募要項を作成し、ＨＰに募集情報を掲載した。短期使用の申請があり、利用率が向上した。
現状維持			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳								
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細 節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に	
予 算	当 初 予 算	6,906	6,957	9,109	7,977		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	会計年度任用職員給与			
	補 正 予 算										勤勉手当及び通勤手当			
	前年度から繰越										消耗品費、印刷製本費及び光熱水費			
	予 備 費 等										通信運搬費			
計	6,906	6,957	9,109	7,977										
決 算	執 行 額	5,224	5,697	8,537				給料	一般職給（会計年度任用職員）	1,723	1,821	2,274	2,311	伊予港内港浮桟橋係留施設使用料徴収事務委託料等
	翌年度へ繰越							職員手当等		430	457	941	1,050	伊予港注意看板設置工事等
財 源 内 訳	国庫支出金							需用費		1,319	1,331	1,392	1,878	
	県 支 出 金	4,174	4,227	4,253	4,016			役務費	通信運搬費	93	97	100	302	
	地 方 債							委託料		1,659	1,661	1,963	1,966	
	そ の 他	1,050	1,470	3,202	3,129			工事請負費		0	330	599	440	
	一 般 財 源	0	0	1,082	832			原材料費		0	0	14	30	
	執行率（％）	75.6%	81.9%	93.7%				工事請負費				1,254		伊予港野積場整地工事
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		75.6%	81.9%	93.7%										
正規職員の人工数		1.15	1.15	1.15										
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895			上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		14,187	14,627	17,616		事業費の総計			5,224	5,697	8,537	7,977		

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業活動の成果【アウトカム】	
	指標①	大型船舶使用隻数	隻	➡	357	345	326	事業遂行に係る工夫点・事業成果	県の担当課に破損状況等の報告、修繕依頼等を行い、国庫補助事業による改良なども実施してもらい、破損状況が改善して行っている。 県が実施している浚渫事業への対応により、大型船舶を受け入れ停止する時期があり影響もあり、大型船舶使用隻数の減少が見られる。
	指標②							事業遂行に係る課題・改善点	施設・設備の老朽化が進んでいる。 利用者の増加があまり見られない。
	指標③								
	指標④							課題解決に向けた方策等	伊予港の老朽化が全体的に進んでいるため、県の担当課と連携をとりながら、破損状況等の報告、修繕依頼等を実施している。 野積場、上屋、県営浮桟橋の募集について、市ホームページへの掲載内容を改善して行っている。

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。